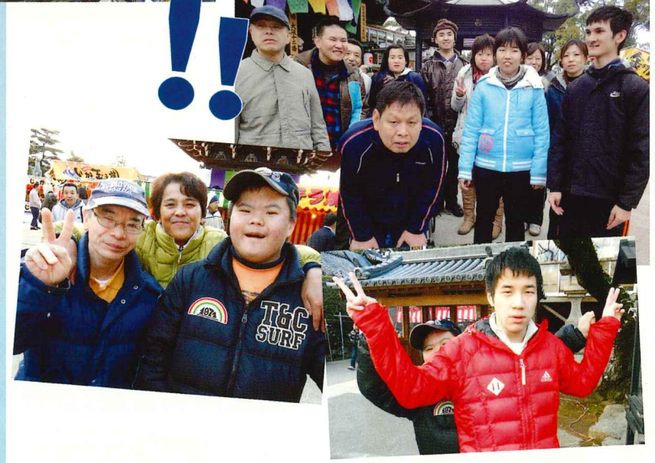
せんごくの里ニュース
ふなで
2013年1月　第6号
〒597-0042　貝塚市王子1183-3
TEL. 072-437-1075
FAX. 072-437-1076
発行者：岡田　透

せんごくの里で雑煮も頂いたよ！ ▶

元気よくスタートの誓い 水間寺に詣りました

2013年 力合わせて頑張るぞ!!



災害から身を守る防災知識を学びました

今年最初の取り組みとして、11日に避難訓練を行いました。全員避難でき、点呼できるまでに約3分かかりました。その後から地震や火災などの災害に遭遇したときの正しい対処法などのお話しとビデオを見て貝塚消防署の方から説明して頂きました。
最後に質問コーナーを設けて、避難場所はどこになるのか、机の下にもぐった方が良いのかなどの質問が出て、防災への心構えや身を守るための安全対策などを学びました。

3回目のお正月を迎えて

せんごくの里　所長
岡田　透

新年あけましておめでとうございます。
早いもので、開所から3回目のお正月を迎えました。休みが明けてから、みんなのうれしそうな顔が見られて元気をもらいました。
今年は、作業内容や余暇活動の取り組み方法等、もう一度整理し、利用者にとっての真の充実した活動内容を求めていきます。
利用者仲間が「せんごくの里」に明日も通所したいと思っていただける事業所運営をめざしていきます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

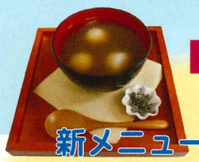
音楽療法

すっかり定着した取組みになりました。音楽に合わせ体を動かす、月一度のこの時間をとても楽しみにしています。

クリスマス会

年末の一大イベント！会場の飾り付けからみんなで協力して準備するなど大いに期待を膨らませます。各班の出し物や合唱など、盛り上がりは最高潮に。この後サンタが登場し、一人ひとりにプレゼントが手渡されました。

冬季限定「白いくも」新メニュー＆セール情報



「暖かいメニューが欲しい」の要望を受け、『白玉ぜんざい』が冬季限定で登場しました。ぜひご賞味下さい。また、2月にはセールも予定しています。御来店心よりお待ちしています。

作品展に出展

貝塚市障害者施設連絡会より、中央公民館で作品展が開催され、せんごくの里からも出展。みんなで鑑賞に出かけました。

第2回ひびきあいまつり5月26日(日)開催

会場は「せんごくの里」・ワークセンター「すっく」で

第1回ひびきあいまつりより

5月26日（日）「第2回ひびきあいまつり」が開催されます。「貝塚こすもすの里」建設を前にした福祉バザーから始まり、毎年地域の皆様、ボランティアの方々の多大なお力をお借りして続けてきた取り組みですが、前回よりバージョンアップさせた「福祉まつり」として取り組んでいます。
今回の開催場所は、「せんごくの里」と利用者・家族・職員の願い、希望をのせてスタートした、ワークセンター「すっく」です。まつり事務局もいち早く動き出しました。少し先にはなりますが今からご予定に入れていただき、当日は多くの方々と共に楽しい一日を創り出したいと願っています。今後ともご支援、ご協力をお願いします。

第2回ひびきあいまつり事務局長　大林　寛

白いくも

元気になって復帰
「小嶋さん 退院おめでとう」

退院されて、12月から利用開始されています。年末に白いくもメンバー＆職員で「退院おめでとう会」を開きました。白いくもの美味しいコーヒーで「おかえり」と乾杯をして、小嶋さんの近況を聞いたり、カフェの状況を伝えたりと和やかな時を過ごしました。

ここにエース誕生!!

白いくも 厨房班

厨房班には、木下大樹さんという強力な助っ人がいます。野菜の皮むき、昼食の配膳、お茶の用意、そして下膳口に返されるたくさんの食器の洗い物の仕事を、どんどん片付けてくれます。仕事が手すきの時は落ち着かないのか、彼の熱い（!?）視線をすごく感じます。そして「木下さん、○○やって～」と頼むと、「よっしゃ！」と嬉しそうに動く人です。

今では厨房には、なくてはならない人です。「今日は忙しかったね」「忙しかったです」ニコッ！「お疲れ様」「掃除してきます！」朝夕の掃除機がけも気軽に引き受けてくれる、本当によく働く人です。

川瀬 直美

16名で手づくり商品にチャレンジ
売り上げ伸ばした昨年

いきいき班

いきいき班は、土曜日のみ利用のメンバーも含め、16人の仲間で作業を進めています。手作り商品では、開所当時から取り組んでいる、牛乳パックを再生利用した葉書やメッセージカードの他に、お箸袋も作っています。昨年からは、喫茶「白いくも」で使用したコーヒー豆を利用して消臭袋も作っています。コーヒー豆を計量する仕事や計り終えた豆を袋に入れる仕事、袋を縫う仕事。それぞれの仕事をゆっくりですが、自分の持ち場として頑張っている仲間の姿があります。他に、ビーズ商品の制作販売があります。今はおもに、細かいビーズをとおしたネックレスの制作に取り組んでいます。二つのエコロジー商品とビーズ商品、コースターやティッシュケースの縫い物商品は他施設のフェスタや、毎週水曜日の福祉センターでの販売はじめ、お知り合いからの注文をいただくなど売り上げにつながりました。

大塚 美鈴

わくわく班

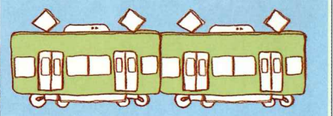
繁忙期に力合わせ 乗り越えたことが自信に

ありがたいことにたくさんのタオルの仕事をいただき、１０月から１２月にかけてわくわく班は大忙しでした。

日々やってくるたくさんのタオルを前にやりきることができるか不安になることもありましたが、全て無事に出荷することができました。一人ひとりが「がんばらなきゃ」そんな気持ちを持っていることが毎日の姿から伝わってきました。そしてみんなで力を合わせ、忙しい時期を乗り切ることができたことは大きな自信になったと思います。これからも団結してがんばっていきます！

曽我部 真由子

仕事を頑張るためには
余暇を楽しむことも欠かせません



リフレッシュ

家族の思い

身体を動かし健康維持
「南條体操教室」が好評

去年よ９月より「南條体操教室」という、ちょっと硬そうな名前とともに毎週木曜日に体操教室がスタートしました。回を追うごとにマットが増えたり、ＢＧＭが流れたりと、少しずつですが工夫を重ねながら取り組んきて、班に関係なくみんなで集まって楽しく体操をしています。

せんごくの里への通所がよろこび

四條 トモ子

親子でお世話になりまして２年半が過ぎました。毎日、大好きなせんごくの里に行ける事が喜びです。

今、とっても嬉しい出来事がありました。同じ班三浦君ととっても仲良しさせて貰っています～。

史也と間違えるほど良く似ていて、三浦君のお母さんからは性格まで似ているよと教えていただきました。

はじめまして
松崎洋子です

せんごくの里のみなさんと笑顔いっぱいがんばりたいです。
よろしくお願いします。

成長も実感。感謝に堪えない
親亡き後の生活へケアホーム建設を

稲留 勝義

法人の思想や取り組みに共鳴し、何カ所かの作業所を歴てやっとたどり着いたのが、今のせんごくの里でした。お陰様で、子どもも元気よく通え、徐々に対物から対人への興味もでてきているようで感謝に堪えません。

今一番気になるのが、親亡き後の子の行く末であり、少しでも自律した生活が送れるようケアホームの建設を強く望んでいるところです。

一人っ子でもあり、子離れができていない親として反省しつつ、子どもの成長を末永く見守っていきたいと思います。

今後とも、親子共々、よろしくご指導いただきますようお願い致します。

生き生き働く姿に安心
これからも一歩一歩、
着実な成長を願います

雑賀 好子

新年明けましておめでとうございます。

去年５月からお世話になって早７ヶ月。本人がずっと、やってみたいと思いながらかなえられなかったカフェの仕事にも大分と慣れてきた様子です。

スタートした頃は、親子とも不安いっぱいでした。しかし、「案ずるより、産むが易し」。職員さんの細やかな配慮に支えられながら毎日、楽しく生き生きと働いています。帰宅するなり、開口一番、仕事中の出来事を話し、お給料日には、白いくものパンのプレゼントをしてくれます。（「毎日お世話になっているから」と）

まだまだ精神的に不安定な娘ですが、周りの人々に支えられていただきながら、一歩一歩ゆっくり着実に成長していって欲しいと思います。